

「健康おおつ21（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画 策定専門部会（第1回）の会議結果」

1. 開催日時

令和5（2023）年7月19日（水曜日） 13時30分～15時10分

2. 開催場所

大津市ふれあいプラザ 大会議室 及び WEB会議システムによるハイブリット会議

3. 会議委員

出席者：尾辻会長、隠岐副会長、今井委員、上田委員、門田委員、清水委員、藤木委員、山元委員

欠席者：風間委員、安田委員

5. 議題

- (1) 健康おおつ21（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画策定専門部会について
- (2) 現行計画（健康おおつ21（第2次計画）、第3次大津市食育推進計画）について
- (3) 健康おおつ21（第2次計画）、第3次大津市食育推進計画の最終評価について
- (4) 健康おおつ21（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画について

6. 会議概要

(1) 開会

事務局 委員の出席確認及び資料の確認

(2) あいさつ

大津市保健所 中村所長

(3) 委員、事務局職員紹介

(4) 会長の選出（大津市保健所条例第5条第1項に基づく）

会長：尾辻委員、副会長：隠岐委員

(5) 議題

ア 健康おおつ21（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画策定専門部会について

- ・事務局より説明 資料1
- ・質疑、意見なし

イ 現行計画（健康おおつ21（第2次計画）、第3次大津市食育推進計画）について

- ・事務局より説明 資料2-1、資料2-2
- ・質疑、意見なし

ウ 健康おおつ21（第2次計画）、第3次大津市食育推進計画の最終評価について

・事務局より説明 資料3-1、資料3-2、資料3-3

・発言内容

門田委員	資料3-1の1ページに、健康寿命と平均寿命の差の表がありますが、計画策定時の平成22年の数値が、健康おおつ21と健康いきいき21とで数値が異なるのはなぜでしょうか。
事務局	健康おおつ21の数値は大津市の数値であり、健康いきいき21の数値は滋賀県の数値となっています。
門田委員	同じく資料3-1ですが、食育や歯の健康について市や健康推進員さん、歯科医師会が啓発活動をたくさん行っておられ、それによって活動評価の値が高くなっているものと思います。例えばスーパーでの啓発といったことだけでなく、企業との連携した活動が有効と考えられますが、そういった活動はどうだったのでしょうか。
事務局	企業との連携については大きく2点あり、本市では健康おおつ21応援団という形で事業所や商業施設と協力して、登録制で情報発信をいただいています。連携協定を結んでいる企業もたくさんありますので、連携して健康教育や広報活動を行っており、そういった活動を充実させたいと思っています。もうひとつは企業との連携として、職域連携に関する会議を行っており、なかなか実践には至っていませんが、働く世代にむけての取組について意見交換をしています。
門田委員	企業の社会貢献を求める動きが盛んになってきておりチャンスだと思いますので、ぜひ企業等と連携して、活動評価の高いところ程結果に結びついていくと思いますので、推進していただければと思います。また同じ資料の6ページで、改善した目標項目に胃内視鏡検診があがっていますが、バリウムの方は悪化した項目にあがっています。国のがん検診のガイドラインの方では、50歳以上に限定してはどうかとされていますし、患者さんを診ていてもカメラの方がいいといった意見が挙がることもありますので、次の計画では合わせてどれくらいの受診率かの達成度を見るのはどうでしょうか。実際、これらを足した受診率はどうかだったのでしょうか。
事務局	内視鏡の方は、前年度バリウムを受診しても次の年受けられるということで、単純に2倍することはできませんが、数値としては2.8%ほどになるかと思えます。この出し方でいくと、全体の数値としては上がっているということになります。 補足になりますが、内視鏡の受診者は増えており、その分バリウムが減少しているということもあるのですが、今年度より本市では50歳以上の方を対象に内視鏡でもバリウムでも2年に1回の検診に取り組んでいくところです。内視鏡については、地域の先生方にもまだまだキャパシティがあると言っていただいていますので、受診率の向上に向けて啓発を進めていきたいと考えています。
藤木委員	健康推進員をしております。先ほどの説明にも健康推進員の減少があげられています。大津市の健康推進員の団体は35周年を迎え、残っている会員も高齢化が進み、体力がどんどんなくなっています。では新しい人が入るかということ、女性

	<p>でも働く人が多く、働いている人は養成講座が受けられません。リタイアされた方を対象に募集しますので、その数は減っています。やめる人は多く、入る人は少ないため減少は深刻です。ここ数年はコロナの影響で活動に消極的になってしまった人もいて、残ったメンバーでは楽しく活動していこうと言っているところです。先ほど企業との連携のお話がありましたが、今朝、平和堂さまとの連携で、ベジチェック用の機械をお借りして、利用客の方の野菜の摂取量を測りました。順番待ちが出るほど多くの方の啓発に努めました。最近では大塚食品の方が講演をしたいとおっしゃって、その設定をいたしました。おおつ健康フェスティバルでは保険会社と提携して、ベジチェックで野菜摂取量を測るなどしました。こういった形で健康推進課のもと、企業と連携しながら取組を推進しているところであり、さらに発展すればと思っています。</p>
事務局	<p>今ご紹介にありましたように、包括連携協定等で明治安田生命さんや第一生命さんと協定の中で連携して事業に取り組んでおり、がん検診の受診啓発や市民への啓発においてご協力をいただいているということもあります。</p>
上田委員	<p>資料の3-3で、朝食の欠食率の指標が良くないようですが、子どもたちに着目しますと目標0%ということについて、たとえば経済的な理由が原因であるといったように限界があるのではないのでしょうか。また、朝食に対してはどのような風な姿勢でいこうとされているのでしょうか。朝食の啓発を行っておられると思いますが、意識や態度を高めようとしているのか、どのような方向性でこういった評価をされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>朝食欠食率についてはなかなか改善ができておらず、啓発については栄養士会や健康推進員、関係団体や関係課のご協力を頂きながら、啓発資料の配布、企業と連携してポスターを作成し、支所や小中学校に掲示し、意識改革という点で、見直しの機会をお伝えすることを重点的に行ってきました。意識だけでなく実践面でも、ここ数年栄養士会にご協力いただき、保育園・幼稚園で保護者の方への啓発講座や、長期の休み期間にお子さんと保護者の方が参加する料理教室なども実施しています。関係団体にも、地域でテーマをもって地域住民に料理教室などをしていただいています。コロナの影響で、多くの事業がストップしていましたが、今後回復して参りますので、朝食欠食率に対する取組も様々にできるようになってくるかと思っています。まずは朝食に対する意識改革をもっていただいて、実践に繋げるような取組を続けていきたいと考えています。目標値は、国の目標に合わせ0%としており、ご意見を頂きながら達成可能な数値の設定を検討していきたいと思っています。おっしゃるとおり、家庭の事情や社会の事情で難しい部分もあると思いますので、ご意見をいただきたいと考えております。</p>
上田委員	<p>同じく資料3-3で、「環境に配慮した食生活を送っている市民の割合の増加」という指標は良いと思いますが、環境という面で、持続可能な食環境になっているかという点ではまだまだ弱いのではないではないかと思いますが、この指標では何を以てそういう状態になっているということを測るのでしょうか。一方で、「学校給食における地場産物を使用する割合の増加」は市内産・県内産の食材数ベースでD評価であり、生産の背景では達成が難しい状況があるのではない</p>

	かと思えます。にもかかわらず、前者の指標では市民の割合が目標を達成していることを考えると、食品ロスやそういった部分だけを評価して市民が回答しているということなのでしょうか。
事務局	「環境に配慮した食生活を送っている市民の割合の増加」につきましては、市民アンケート調査結果をもって数値を算出しています。食品ロスの削減や環境保全のために取り組んでいることという設問に「料理を作り過ぎない」「料理をするときに工夫する（材料を使い切る、皮ごと使うなど）」「余っている食品を寄付する」といった複数の選択肢を用意し、複数回答する設問となっており、ひとつでも回答があれば「環境に配慮した食生活を送っている市民」として計上しています。今回は目標を達成したためA評価となっていますが、今後目標設定をどのようにするか、国や県の計画との整合性も踏まえ、検討していきたいところです。「学校給食における地場産物を使用する割合の増加」では、ご指摘の通り市内・県内の生産量と給食の量との兼ね合いで達成は難しい状況であり、また、現在は食材数ベースでの指標となっていますが、国の目標では金額ベースとなっており、今後ご意見をいただきながら検討していきたいと思えます。

エ 健康おおつ2 1 (第3次計画)・第4次大津市食育推進計画について

・事務局より説明 資料4

・発言内容

上田委員	計画の体系の基本方針③「社会環境の質の向上」に、基本的な方向性として「自然に健康になれる環境づくり」「誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備」とありますが、具体的にはどういったふうにしたらよいのかというところを具体的に入れていただければと思います。あと、個人の行動も大切ですが、社会全体を考えた行動と言いますか、合理的な行動と言ったりもしますが、人は合理的な行動だけを考えていては社会は回りませんので、倫理的な行動についても考えてほしいと思います。経済格差を考えると難しい部分もあって、そう考えますと学校給食とは平等なものだと思いますし、その充実についても考慮していただければと思います。
門田委員	健康格差についていうと、高齢者等のハイリスク方々へのアプローチは第2次計画においても取り組んでこられたところだと思いますが、そこにも引っかかってこない人たち、保健事業に入ってこない人たちへのアプローチをどうしていくかを考えていただければと思います。地域包括支援センターにも自分で声をかけない人について、関わりのある民生委員や地域の人たちも含め、どうやって掬い上げていくかが、健康格差の縮小につながると思います。
藤木委員	基本理念はとても良い表現と思えますし、骨子案8ページの理念の説明文の「誰一人取り残さない」も良いと思います。いろんな世代にいろんな格差があるわけですが、本日のベジチェックでも、昨今の物価上昇を受けて買い控えている高齢者の方がいらっしゃるようで、しっかり食べない人が出てくることが懸念されます。もうひとつ、お母さんが働いている子どもの朝食が心配です。忙しい中でお母さん本人がゆっくり食べられない、子どもがしっかり食べているかわからな

	<p>い、そういった状況で学校へ行っているのかもしれない。私も経験がありますが毎日が戦争で、働くお母さんお父さん、お子さんの食生活が心配です。また、あまり朝食を食べてこなかった大学生は、あまり食べません。ダイエットではなく、寝てる方がいいとって食べないのです。また衛生課の報告書にもありましたが、40歳の男性が朝食を食べていません。朝食の欠食はいろんなことが絡みあっていろんな問題を引き起こしているのですが、誰ひとりに取り残されないように、食育計画が推進されれば良いなと思っております。</p>
今井委員	<p>大津市食品衛生協会としましては、関わっているのは食育、食環境の部分になります。食の安全に対する取組としまして、市内の飲食店を中心に HACCP の考え方を取り入れた衛生管理が進んでいるかの確認を中心に、食中毒に関しての注意喚起、相談事を聞くために巡回指導を行っています。直接健康づくりには入ってきませんが、食中毒の予防も大事なところと考えています。また大津市のほとんどの保育園に、当青年部を中心にして手洗い教室をさせていただいており、子どもの食育に通じる場所であり、衛生面だけでなく食育も含めて子どもたちに教えられることに取り組んでいきたいと思っております。そういったことを中心に、当協会でも計画に関わっていけるように考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
清水委員	<p>滋賀県栄養士会では、保育園・幼稚園の保護者に対しての食育の啓発活動に、衛生課さんにご協力いただいております。高齢者のハイリスクアプローチについては、重症化予防や低栄養の方に対しての取組に、事業にあがってきている方のみになりますが、ご協力をさせていただいております。その他社会福祉協議会でのサロンや地域の方たちの集まりに対して、無料の低栄養やフレイル予防といった健康教室を開催しています。今後もこういった取組を通じて参加をさせていただきたいと考えています。</p>
隠岐委員	<p>大津市薬剤師会としましても、普段から、朝食を抜いている人や低栄養の高齢者の方と接することは多いです。我々としては市内に店舗がたくさんありますので、そういう方に気づけば多職種につないでいくということをしっかりやっていきたいと皆様のご意見を聞いていて思います。</p>
尾辻会長	<p>薬剤師の方にぼろっと本音を漏らされる患者さんがおられて、薬剤師の方は、業務として報告書を書いてもらっただけですが、参考になったといったこともありますので、これからもよろしくお願いしたいと思います。すべての方というのは難しく、医者という立場で仕事をしていても、患者さんの家に行ってみるようなことも多くありまして、先ほどお話がありましたが、民生委員でもなかなか家に入れてもらえないといったこともあるようです。学校給食がないときに、お弁当を食べてないってわからないようにいなくなる、先生も気付かない、ということも結構多いと聞いたことがあります。そういったことに対する対策についても盛り込んでいただければと思います。</p> <p>他にご意見がないようですので、これで本日の議事については終了いたします。委員の皆様ありがとうございました。本日のご意見は計画策定に反映していただければと思います。</p>

オ 閉会
事務局

委員の皆様には、限られた時間ではありましたが、ご審議いただき誠にありがとうございました。以上をもちまして、健康おおつ21（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画策定専門部会を閉会させていただきます。
本日はありがとうございました。